

山田方谷 河井継之助が学んだ藩政改革の師

<http://ftown.boo.jp/takahashi/houkoku/yamada3.jpg>

著者：童門冬二

学陽書房

2002年5月発行

260P15cm

ISBN:4-313-75138-6

本体価格：760円（税別）

この本を注文する

農民出身ながら、怒濤の時代に、幕政を担う老中の代行役として、備中松山藩（岡山県高梁市）を赤字から黒字経営に転換させ、藩政改革を見事に果たした山田方谷。改革成功の秘訣は何か？民の幸福を願い「人としての誠を貫く」生き方の中に見えてくるものは…。行財政改革に混迷する今の世におくる啓発の一書。

目次

第1部 備中が生んだ希代の神童

- ・藩主の留守を守り抜く
- ・幕府の運営は庄屋仕立て
- ・家臣としての分限を心得るほか

第2部 「誠」を貫く改革の炎

- ・治国の大方針確立が先決
- ・鷹山の大義を称える
- ・山だし家老に藩の全権を委任ほか

第3部 分限を生き抜いた孤高の名臣

- ・徳川政権は汚れ傷んだ古着
- ・安政の大獄案に具申
- ・時流に逆らっても仕方ないほか

詳細

農民出身ながら、怒濤の時代に、幕政を担う老中の代行役として、備中松山藩（岡山県高梁市）を赤字から黒字経営に転換させ、藩政改革を見事に果たした山田方谷。改革成功の秘訣は何か？民の幸福を願い「人としての誠を貫く」生き方の中に見えてくるものは…。行財政改革に混迷する今の世におくる啓発の一書。